

研修
レポート

小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成 地域福祉活動指導者研修 「トップセミナー」



NHK解説委員 飯野 奈津子さん

平成30年10月28日(日)、ウエルとばた大ホールにて、社会福祉大会の記念講演会として地域福祉活動指導者研修(トップセミナー)を開催し、約500名の地域の方々にご来場いただきました。

今年度は、NHK解説委員 飯野奈津子様をお招きして、「高齢者も障害者も子どもも自分らしく輝けるまちづくりを目指して」というテーマで、地域共生社会についてわかりやすくご講演いただきました。

地域共生社会とは、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。

講演の中で、「誰もが輝ける力を持っている、その力を発揮するためには、地域の人も含めてお互いに支え合って生きていくことが大切であるということ。また、支援される側は何もできないと思っている人もいると思うが、支援される側の人たちもちょっとした手助けがあれば、できることはたくさんある。そして、その人たちも役割をもって、地域の為に何かをしたいと思っている。だからこそ、その人たちがどのように困っていて、どう手助けをすればよいかということ話し合い、理解し、自分たちにできる地域に合わせた取り組みを作り、みんなで助け合っていくことが重要になってくる。」ということ、他の地域での事例を交えてお話いただきました。

参加者からは、「自分の地域にあわせた取り組みをしていきたい。」「地域でできることは地域でやろうという意識をもってまちづくりに取り組みたい。」「地域全体で取り組む大切さに気付くことができた。」「全員で同じ方向を向いて助け合いながら頑張っていきたい。」など多くの感想をいただきました。

この講演から、誰もが自分の地域で輝けるように、また自分たちの住みたいまちをみんなで作れるように、事例を通してたくさんのヒントを得ることができ、今後の地域づくりについて必要なことを学ぶことができました。

これからも住民、関係機関・団体と連携しながら、地域共生社会の実現に向けて、安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指していきたいと思います。

地域共生社会のポイント

- 誰もが輝ける力をもっている
- 誰もが自分の力を発揮したいと願っている
- それを支える環境づくりこそ必要
- 孤立を防げ! つながろう!!
- 地域力が問われている



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑭

今こそ「業績に繋がる社会貢献活動」を



CSR協働コーディネーター

池上 直樹 さん

●企業の社会貢献活動の変化

企業の社会貢献活動は、時代とともにその量と質を変化させてきました。量の面では、1990年代は社会貢献活動に消極的な企業が9割超でしたが、今ではCSR(企業の社会的責任)の一環として不可欠との認識に変わってきています。一方で質の面では、旧来は慈善活動が中心だったものが、今は事業を通じた活動や業績に繋がる活動が求められています。

●なぜ必要か

なぜ「業績に繋がる社会貢献活動」が必要なのか。それは社会貢献をCSRとして企業活動の一部と捉え、ブランド価値向上に繋がる活動を重視するようになったためでしょう。自社らしい活動は、社員や株主の理解と社外の共感を得やすく、業績にも貢献できるからです。また最近の人手不足の状況では、「社員として誇りをもてる社会貢献活動を行っているか」は、人材確保における重要なポイントとなっています。今の学生は、企業のCSR活動に驚くほど関心をもっています。

●どうすればできるか

どうすれば「業績に繋がる社会貢献活動」ができるか。本業の強みを整理する、フレームワークを利用する、ス

ークホルダーの意見を聴くなどの手法があります。そして取り組むテーマが決まったら、NPO等の地域の団体と協働することをお勧めします。企業は社会問題解決のプロではありません。その道に長けた専門家と協働することが、結果を出す近道です。地域(NPO等)も、企業の資金力や影響力に期待し、協働を待ち望んでいます。企業と地域の双方にメリットのある協働。それが企業の業績と地域の課題解決を同時に実現する有効な手段だと考えます。

地域(NPO等)は、企業の社会貢献活動への関心と意欲が高まっているこの機を逃す手はありません。企業のメリットを考慮して信頼を得て、単独では成し得ないことを企業と一緒に実現したいものです。

●セミナー

私は企業で社会貢献を担当し、個人でもボランティア体験などを経験してきました。現在は企業とNPOの協働を推進する活動を行っています。今回、ウエルとばた12階H・I研修室で1月30日(水)13時30分から「企業の社会貢献活動セミナー」の講師を務めます。どうぞご参加ください。

社協は「企業の社会貢献活動」を応援します!

多くの企業の公式ウェブサイトに「社会貢献」という言葉が出てきます。それは、社会が求めているものがモノやサービスだけではなく、企業が社会的責任を持って活動しているか、いかに社会に貢献してくれる存在なのか、という社会的側面を重視するようになってきたからです。経団連は「企業は、所得や雇用の創出など、経済発展にはなくてはならない存在であるとともに、社会や環境に与える影響が大きいことを認識し、『企業の社会的責任』を率先して果たす必要がある」という姿勢を示しており、消費者の社会的意識の向上がその背景にあると考えられます。

こういった社会的背景の中、社会福祉協議会では、各種団体の後援や協力もいただきながら、これから社会貢献に取り組みたいと考えている企業や、すでに地域社会発展に向けた貢献活動に取り組んでいる企業など、地域へ根差す企業の皆様へ、研修事業や各種ボランティア活動の支援を通してこれからも積極的に応援して参ります。

